

もっと快適に、もっと安全に

やります! 中央線沿線のまちづくり

高円寺

- 阿波おどりや古着ファッションなどの若者文化のまち高円寺のカルチャーを全国に発信。
- 中野からのアクセスの向上に向け、都市計画道路補助221号線を整備。

阿佐ヶ谷

- ホール、ギャラリー、スタートアップオフィスなどの機能を取り入れ、文化のまちを発信。
- 杉一小跡地は隣接地と一体でまちづくりを。
- 東京都、国と連携して区役所、警察署、都税事務所、税務署等を再編して行政サービスの利便性を向上。
- 都市計画道路133号線の延伸で交通アクセスの向上。

荻窪

- 現在始まった荻窪北口まちづくりを契機に杉並の中心地にふさわしいランドデザインを描く。
- 旧若杉小跡地: 災害時の物資搬出入を想定した道路整備と一体で防災公園、学童保育などの子育て機能の強化、若者世代を支援する拠点へ。
- 歴史と文化のまちの発信: 荻外荘、大田黒公園、角川庭園に加え、故谷川俊太郎記念施設を整備し歴史と文学のまちを広く発信。

西荻窪

- アニメーションミュージアム: 機能を充実、アニメのまち杉並を世界に発信。
- 都市計画道路補助132号線を整備: 防災性の向上と人にやさしいまちづくり。

やります! 西武新宿線沿線のまちづくり

- 連続立体化事業と連動した駅前整備の推進: 東京都、西武鉄道と連携して西武新宿線の駅前整備を推進し、地域活性化を推進。
- 旧杉並中継所跡地の活用: 都市型スポーツと災害対策の新しい施設として整備。
- 新しい都市農業の展開: 地産地消の推進、農の学校、生産緑地の活動支援など都市農業を支援。

やります! 京王井の頭線沿線のまちづくり

- 浜田山駅南口の即時開設: 地権者が南口のビルを整備しているにも関わらず、4年近く放置してきた岸本区政のやり方を改め、即時開設。
- 中央道高井戸インターの開通促進: 中央道高井戸インターの開通を促進し、移転後の旧富士見ヶ丘小学校の施設活用を地元とともに検討。富士見ヶ丘小の移転改築が終わった今、中央道の入り口開通の条件は整いました。

やります! 区内全域のまちづくり

- 水害対策: ゲリラ豪雨対策の治水事業を東京都と連携して着実に推進。
- 防災対策: 狭あい道路拡幅事業、電柱の地下化、インフラ老朽化対策。
- 交通対策: 南北交通、バスの減便対策、オンデマンド交通、ベビーカーや車いすで安心して移動できるまちづくり。

今も花開く田中良の施策

行政は長期的視点での取り組みが必要です。
杉並前区長 田中良が取り組んできた
施策のひとつひとつが花開いて
きています。
そのいくつかをご紹介します。



やりました! 阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりで 河北総合病院移転改築

全国的に病院の閉鎖が相次ぐ中で、田中前区長がリーダーシップを発揮して取り組み、老朽化した河北総合病院が昨年6月に移転改築。機能を充実し地域医療基盤が向上。

やりました! 荻外荘開園

令和6年11月開園した荻外荘には多くの方が訪れています。これは田中前区長が自ら長年にわたって近衛家をはじめ関係者と協議を行ってきた成果です。

やりました! 区立ドッグラン広場

区長時代に地元都議との連携で東京都に働きかけ、都立和田堀公園内に区立のドッグランを開園。

やりました! 農福連携農園 すぎのこ農園

杉並らしい農業と福祉の連携、地産地消の推進。障がい者のいきがい創出や就労支援のために区長時代に開園した農園は、23区初の取り組みとして内外から注目されています。

やりました! 台湾との交流 中学生野球・阿波おどり

平成23年に「野球を通して中学生の国際交流を」という軟式野球連盟の要望を受けて中学生野球親善交流を推進。平成29年からは高円寺阿波おどりの台湾公演も実施。

やりました! 方南町国家公務員 宿舎跡地の住宅整備

国の公務員宿舎廃止方針で廃屋化していた用地を田中区長自ら国と交渉して良好な住宅として整備。

やりました! 東電グランド活用で 公園・調整池・ スポーツ施設を整備

10数年を経て今年度オープン! 東日本大震災後、東京電力所有のグランドを田中区長自ら東京都に働きかけ、公園・スポーツ施設・水害対策の調整池として整備することに。下高井戸おおぞら公園はオープン済。地下に調整池を設け、その上をスポーツ施設とする工事は今年度中に完成予定。